

平成 27 年度

# 事業報告書

社会福祉法人宇和島市民共済会

1 本部会計

2 施設会計

(1) 軽費老人ホーム ケアハウスいこい

(2) 老人デイサービスセンター いこい

(3) 居宅介護支援事業所 いこい

# 平成27年度事業報告書

(本部会計関係)

平成27年度の社会福祉法人宇和島市民共済会が経営する事業全体を振り返ると、先ず、第1種社会福祉事業（ケアハウス）においては、若干の定員割れという結果で357名の実績である。しかし、利用者処遇面においては、さらに充実した各クラブ活動、宇和島人形の展示行事、季節の好楽行事、外出レクの充実等、事業計画以上のサービスを実施することができ、入居者様にも十分満足して頂けたものと感じている。

第2種社会福祉事業（デイサービス）においては事業収入増という懸案事項も回復し、決算において、なんとか収支のバランスがとれた物となっている。昨年度はマイナス2.27%という厳しい介護報酬改定にもかかわらず、職員間の連携強化と、より重度化していく利用者様のニーズに応えるべく様々な努力を行った結果が見える結果となっている。

居宅介護支援事業所につきましては、昨年度からの5人体制が介護支援専門員それぞれの個性に影響を与え合っている。全てが良い結果であるわけではないが、総合すると雰囲気の良い方向へ向かわせていると感じている。若干の赤字決算ではあるが、事業所単独としてだけでなく、通所とご家族、地域のコミュニケーション形成にも新しい風が入り、相乗効果が進んでいく途中ではないかと感じさせる動きを見せている。居宅介護支援事業所は大きく黒字が見込まれる事業ではないが、今後の事業展開を考える上で、欠かせない重要な位置づけを担っている。

ついては、平成27年度事業計画に沿って目標達成状況を自己評価し、事業報告とする。

## 1. 経営組織(法人本部)

- (1) 本年度には、役員会運営においては定款及び定款施行細則に基づき、随時、評議員会・理事会を開催し、法人運営及び施設の健全経営について、積極的に評議員会及び役員会へ出席して頂き、きめ細かな審議を実施して戴くことで評議員会、並びに理事会各々の役割を十分に発揮していただけたと感じております。

※役員会開催時期並びに審議内容等については「別紙1平成27年度役員会開催状況」参照

- (2) 定款施行細則も含めた各規程並びに各様式(書式)の見直しを図り、より充実した法人及び施設運営に努めた。
- (3) 常に収入及び支出の状況を把握し、適時、補正予算の編成を実施することで適正な予算執行に努めた。

(4) 紙面の都合上、詳細な決算書類等の財務諸表の公開には至っていないが毎年発行している会報に収支状況を掲載し、各方面に配付した。

また、各施設の概要及び事業実施状況等も随時ホームページに掲載して情報開示に努めた。

## 2. 事業管理

### (1) ケアハウス

別添 社会福祉法人宇和島市民共済会 平成27年度事業報告書  
(経費老人ホーム ケアハウスいこい) を参照

### (2) デイサービス

別添 社会福祉法人宇和島市民共済会 平成27年度事業報告書  
(老人デイサービスセンター いこい) を参照

### (3) 居宅介護支援事業所

別添 社会福祉法人宇和島市民共済会 平成27年度事業報告書  
(居宅介護支援センター いこい) を参照

## 3. 財務管理

月末試算表から資産の状態・増減・事業活動の成果を把握することで、適宜、予算の執行状況を確認し、適正な見直しを図った。

また、継続して、公認会計士に会計帳簿等の確認及び指導を依頼し、より、健全で明確な事務処理を実施することに努めた。

## 4. 人事管理

(1) 職員の資質向上のため、年度当初に計画した施設内外研修会（詳細については「別紙2平成27年度研修実施状況」を参照）の受講を実施した。

(2) 法人で入会するソウエルクラブの特典を利用した記念品贈呈や役職員合同の忘年会等を実施した。